

【村上財団第4期（2019年8月～2020年7月）支援実績】

～寄付活動～



【支援先：認定 NPO 法人ピースウィンズ・ジャパン】



2月1日武漢での新型コロナウイルス感染拡大を受け、現地で活動していたピースウィンズ・ジャパンに Yahoo!募金を通じてマッチング寄付をおこなうことを決定しました。その後、感染拡大を受け日本で活動を開始したピースウィンズ・ジャパンは武漢での支援のお返しにマスクの仕入れが可能に。村上財団からさらなるマッチング寄付などをもとに、マスク不足の医療現場などに 20 万枚以上のマスクを配布しました。

【支援先：抗体検査】

新型コロナ定量抗体検査でわかること

| | | |
|--|---|--|
| <p style="text-align: center; background-color: red; color: white; padding: 5px;">感染しているかどうか</p> <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> PCR検査・抗原検査と組み合わせ、より正確に罹患状態を把握することが可能 <input checked="" type="checkbox"/> 正確な診断により他人への感染リスクが判断でき、早期社会復帰の指標になる <input checked="" type="checkbox"/> 不安な時に他人にうつす可能性がないか自分を調べるができる | + | <p style="text-align: center; background-color: red; color: white; padding: 5px;">感染したことがあるかどうか</p> <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 実際に（無症状含め）どれくらいの人が感染していたのが判明できる <input checked="" type="checkbox"/> 網羅的に検査をすることで、より注意が必要な地域や職種がわかる <input checked="" type="checkbox"/> 免疫反応を研究することで、今後のワクチン開発につながる |
|--|---|--|

まず、東京大学医学部附属病院、東京都医学総合研究所、京都府立医科大学に抗体検査機器と試験薬をピースウィンズ・ジャパンと寄贈しました。その後 Yahoo!募金を通じて東京大学先端科学技術研究センター、ピースウィンズ・ジャパンとともに支援ページを立ち上げ、そこに集まった寄付にたいしマッチング寄付を行いました。

【支援先：認定 NPO 法人フローレンス】



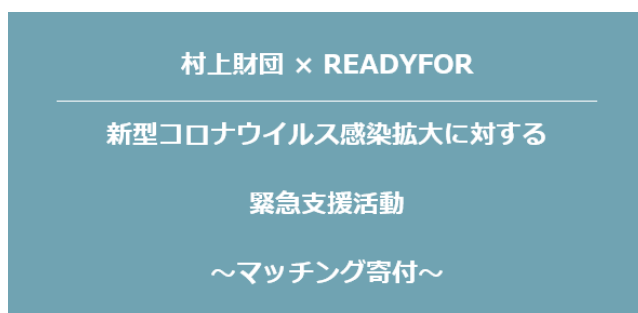
フローレンスは、コロナによって子育て世帯が抱えている問題を調査すべく、緊急アンケートを開始し、この費用を村上財団が支援しました。（アンケート結果

<https://florence.or.jp/news/2020/03/post38598/>

約 1 万人が回答したこのアンケートからは様々な問題点が浮き彫りになり、その中で、村上財団が継続的に支援をしている、医療的ケア児者家庭にも深刻な状況があることが判明しました。それは、6 割以上が、日々の医療的ケアに欠かせない消毒液やマスクの不足で困っていることでした。そこで、各自がもっているものを寄付し配布する際の運送費用などを追加支援いたしました。

また、マスク不足が深刻な NICU にむけピースウィンズ・ジャパンが確保されたマスクを届けるということを行いました。

【支援先：コロナ支援団体へのマッチング寄付】



より多くの団体を通じて必要な支援を届けるために、2020 年 5 月クラウドファンディングで資金を集めコロナ対策支援を行う団体にマッチングをすることを発表。選ばれた 8 団体にマッチング寄付を行いました。

■ 特定非営利活動法人抱樸

<https://readyfor.jp/projects/covid19-houboku>

コロナ関連死をくい止めるため、支援付き住宅を提供する活動で 115,786,000 円達成。

■ 認定 NPO 法人ガンバの会

<https://readyfor.jp/projects/npogamba2020>

千葉県市川市をフィールドとし、住まいの確保と相談事業の拡充を目的とし、8,031,000 円達成

■ 認定 NPO 法人カタリバ

<https://readyfor.jp/projects/manatsuna>

生活困窮家庭への PC や Wi-Fi の貸与、個別の学習支援、オンライン研修や面談などでのサポートを目的とし 32,540,000 円達成

■ 特定非営利活動法人新公益連盟

<https://readyfor.jp/projects/covid-fund>

運営の難しい状況を乗り越え、なおコロナに対応した事業を進めようとしている加盟団体を支えるため、クラウドファンディングを開始 2,110,000 円達成

■ 全国こども食堂支援センターむすびえ

<https://readyfor.jp/projects/kodomoshokudo-fund>

こども食堂とフードパントリーの両方を実施する団体を応援、22,279,000 円達成

■ 一般財団法人創発プラットフォーム（創発マザー募金）

http://www.sohatsu.or.jp/?page_id=375

医療現場での危険業務従事者等を支援するプロジェクト、疲弊した商店街や飲食店を支援するプロジェクト、コミュニティの子供ケアや高齢者ケアを行うプロジェクト、文化・芸術などを支援するプロジェクト

の 4 点を重点的に支援するために開始、READYFOR で、6,566,000 円、7,300,059 円を達成（未達成のためマッチングは第 5 期予定）

■ 釜ヶ崎支援機構

<https://readyfor.jp/projects/kamagasaki/comments>

大阪西成で住まいの確保と、日常生活支援、就労支援を目的とし、7,155,000 円達成（未達成のためマッチングは第 5 期予定）

■ NPO 法人コミュニティワーク研究実践センター

<https://readyfor.jp/projects/cmtwork>

北海道を拠点に、「仮住まい」から、生活基盤を立て直す「本当の住まい」へを目的として挑戦中。

（未達成のためマッチングは第 5 期予定）

【支援先：創発マザープロジェクト】



「何かに困っている、不安を感じているといった方が連絡・相談できる先」として、医療・法律の分野において、利用者の費用負担なく相談をいただける有志の方々のリストを公開。

【支援先：cotree】



最大 1000 名まで新型コロナに関する無料カウンセリングいただけるプランを用意。

【支援先：こども宅食・こども宅食応援団・おやこ宅食】

 **こども宅食応援団**

子ども宅食のコンソーシアム団体を継続するとともに、グランピングをプレゼント。また、村上絢は一般社団法人こども宅食応援団の理事として参加。

精神疾患や精神障害など、心の不調を抱える親御さんがいる家庭ほど、養育不全等、様々なリスクが高まってしまいがちである、ということです。そしてそうしたご家庭には、何か起きてしまうまで、なかなか支援が届きにくいと、【こども宅食】で感じたフローレンスさんが【おやこ宅食】をはじめられ、その立ち上げ資金を支援。

【支援先 : A-port】



SDGs の17ゴール達成へ活動している団体をクラウドファンディングで支援するという取り組みに共感し、村上絢が推薦人をつとめました。推薦したのは、より暮らしやすく笑顔あふれる日本を創るため、「未来を作る取り組み」を実践する特定 NPO 法人キッズドアさん、認定 NPO 法人 3keys さん、公益社団法人 Civic Force さん、認定 NPO 法人 D×P さんの 4 団体。貧困の連鎖解消、災害への備えなど、日本の未来に目を向け活動されている共通点があります。推薦団体に各 30 万円寄付しクラウドファンディングを盛り上げ、第 4 期中に立ち上がった、公益社団法人 Civic Force さん、認定 NPO 法人 D×P さんはともに目標を達成されました。